

第2節 モニターアンケート

1. 効果的であった青少年育成活動

ゲームセンター、カラオケ店で灰皿の管理意欲を強め、青少年の健全育成をして営業して頂き、その後、ゲームセンターからは高校生の喫煙者はいなくなりました。

(埼玉県・60代・男性)

「愛のひと声運動」をパトロール活動時に実施し、何度も声をかけるうちに、児童・生徒が自らあいさつをできるようになった。

(千葉県・60代・男性)

今年は色々な行事に高校生を参加させた事です。又、各団体の事業に合せ行政が各学校にPRしてくれました。非行防止の街頭キャンペーンでは責極的に高校生等にチラシをPRして新しい活動力を得ました。

(秋田県・60代・男性)

薬物乱用防止活動。毎年、ある高校において、新一年生に対し、薬物乱用防止教室を行なっております。その後、アンケートを取って見ますと、薬物の事が良く理解できたとか、家族に話しをする、ゼツタイやらないといった効果がでています。

(福井県・60代・男性)

昨年の「未成年者飲酒防止の看板」の設置の取組において、1年間看板を設置した場所においては、地域住民からは集団による飲酒未成年者の通報は全くなく、又、今年は、警察ボランティア、地元青年会、防犯協会、シルバー（老人クラブ）などと組んで、ナイト・パトロール隊を発足、午後8時から午後10時までの2時間青色閃光灯の車両で地域内を巡回パトロールした結果、子ども達のたむろ場所が殆ど皆無になった。

(沖縄県・60代・男性)

コンビニ、ゲームセンター、駅等で学生に声掛け等を行い、早く帰宅をする様にやクラブ活動、地域ボランティア活動に参加する様に協力依頼をお願いした結果、駅でのゴミ拾いを行ってくれた。

(奈良県・40代・男性)

自分の居住する地域での防犯ボランティアにおいて、青色回転灯により巡回する事により、老人宅への物品の訪問販売が減少したり、ゴミの不法投棄等が減少し、又、不審者等の情報もなくなった。

(三重県・40代・男性)

非行少年の自立支援活動、生活の乱れなどから自身を見失なった少年を労働体験的な活動へつなぎ、生活リズムの確立と社会復帰の意欲回復を後押しする活動によって、地域での居場所を見つけて自立する事ができた。

(熊本県・50代・男性)

地域の運動会、文化祭、こども会活動で活躍した中学生を学校長を通して表彰する。コンビニにたむろする等していた中学生が、私の顔を見て挨拶してくれるようになった。地元の成人式では、彼等から声をかけてくれる。

(栃木県・50代・男性)

幼稚園における教育講演会に少年指導委員会の皆さんのも出席いただき、グループディスカッション等の司会をお願いし、交流を図ったことは効果的でした。共同体ということを保護者が意識したと思います。

(栃木県・40代・男性)

目線を合わせ、声かけ（話し合う）をする。ほとんどの子どもは素直に対応してくれる

(長野県・70歳以上・男性)

日々の生活の中に目標を持たし、自分も他人も必要な人間であるという意識を持って生活を送らす事。部活動、進路、仕事、趣味など。

(高知県・50代・男性)

施設の事業で無人島キャンプを企画し、異年令集団の中で小・中・高・大学生が生きていく為に、食べることから協力する大切さを体得させられたこと。

(鹿児島県・60代・男性)

街頭補導を毎回していると、喫煙してる子ども達も少なくなってきました。定期的な巡回がとても大切だと感じました。

(宮城県・50代・女性)

中退した男子高校生に、駅などで声かけを行っている。立ち直りに即効性はないと思うが、今後の生き方に触れることなどで、立ち直りのきっかけを期待している。

(石川県・60代・男性)

地域住民による地域青少年への声かけや地域行事、ボランティア活動に参加させる等で、人間関係を深め青少年に「認められている。頼りにされている。」という自覚をもたせる。

(愛知県・60代・男性)

大人の研修会に子どものクラブ活動や取組活動を発表させる。学校関係者と何回も打合せする中で子ども達とのコミュニケーションが図ることが出来る。又、先生の情報等も知ることが出来る。

(三重県・50代・男性)

問題行動の少年たちと地域の人達が力を合わせて、花壇を作るプログラムを実施した。これは詳細なマニュアルも指導者もいない素晴らしい取組。

(島根県・50代・男性)

「事例」とまではいきませんが、いつも声をかけています。(おはよう、こんにちは、おかえり、行ってらっしゃい、どこへ行ってきたの)等。

(神奈川県・70歳以上・女性)

青少年の書いたポスターを町中に貼るのが、効果的だと思う。ポスターは良く目に止まる。

(宮崎県・20代・男性)

2泊3日のキャンプ、自分たちで食事を作ったり、ゲームをしたりと、集団生活をする中で、自立心や、友達への思いやりが育った。

(和歌山県・50代・男性)

荒廃しかけた中学校の噂を耳にしたので、早速学校に生徒の現況を包み隠さず相談して欲しいと申し入れました。少年ボランティアと児童民生(学区代表)が当該中学・校長教頭、生徒指導教員と本音で話し合った結果報道に知られないよう工夫して警察のアドバイスを基に生徒数人を補導して健全な中学にもどす事ができた。

(静岡県・60代・女性)

P T A活動の中で有害図書の実態調査をして、販売店へ自主規制の要望をお願いして回った。アダルト関係の図書を独立したコーナーに限定し、目の届く場所に設置してもらった。

(熊本県・50代・男性)

問題行動の青少年に居場所を与え、地域の方達とのふれあいを持たせることで迷惑行為を少しずつ減らすことができたように思います。居場所づくりとして菜園での活動や地域行事での焼きそば作りなどの手伝い等。

(福井県・50代・男性)

保護者向けの(携帯)インターネットの危険を知らせる講演会活動。

(新潟県・40代・男性)

コンビニで、高校生のバイトが未成年と思われる客に対し、タバコを買おうとした時、きちんと身分証の提示を求めている。小売店やコンビニ等への販売に関する啓発活動がきちんと形になっていると感じた。

(神奈川県・40代・女性)

薬物乱用出前講座を小、中、高校で実施・薬物乱用防止について、携帯電話やインターネットの危険性を話し、後で各学校よりアンケートを提出してもらいその内容を参考に出前講座に生かしている。

(岐阜県・60代・男性)

地域巡回パトロールや地区公園の草刈り、ゴミ拾いをやっているうち、挨拶をしてくれる保護者、子ども達が増加し、気がるに相談等できるようになった。

(熊本県・60代・男性)

子どもの良い点を見つける（毎朝子どもにあいさつの声かけをしているが返ってこない子どもが集合時間は必ず守る事を学校に連絡して先生から褒めてもらおうと翌日からは先に明るくあいさつができるようになった）。

(群馬県・60代・男性)

スポーツに熱中させることにより、青少年の心身をたくましくし、人間性を高めることができ、健全育成に寄与できたものとする。

(長崎県・40代・男性)

声を掛ける事が一番大事だと思いますし、声を掛け続ける事により相手も少しずつ心を開いてくれ、返事を返してくれるようになった事があります。

(千葉県・60代・女性)

細やかですが、笑顔での声かけやアドバイスにより成長が目に見えてある。ほめる事、善悪をハッキリ伝えるタイミング。

(岩手県・40代・女性)

ちょっとしたアイデアなどはなく地道な毎日の取組の中で子どもや親たちに接するしかないのです。

(鳥取県・60代・男性)

大学病院の小児科で、入院している子どもたちに遊びの提供を行なった。プレイルームだけでなく、可能な限り病室へ出向き、部屋から出られない子どもたちとかかわった。また、病院関係者とともに、夏祭りやお月見団子づくりなど季節を味わう。

(大阪府・20代・女性)

地域の子どもたちと顔なじみになる事が大事だと感じている。顔を覚えてもらえると、子どもたちからもよく声をかけられる。その子どもたちが中学、高校生になっても顔を覚えてくれている。

(香川県・30代・女性)

サイバーボランティアの活動で、全国で初めて事業者の廃業をさせた。違法性があるものには、何度でも警告メールを送った事が上記につながった。山口県警から表彰されました。

(山口県・30代・男性)

不登校気味の少年や中学を出たあと行き場のない少年達の活動の場として児童館を利用「話に耳を傾ける、彼らの力にたよる（例えばここの釘をぬいて欲しいとか）」などして彼らの居場所作りをすることで生活態度が変わってきた。

(広島県・50代・女性)

効果の程は定かではありませんが、地域内の小学校の登下校の時間帯はできるだけ犬の散歩をして様子をみています。公園内のゴミ清掃で有害図書を処分したりしています。

(宮城県・50代・女性)

保育所、小学校、公民館等で絵本の読み聞かせを行い、絵本で心を養う。

(石川県・60代・女性)

地域の小学生から高校生まで参加した子ども獅子舞で、ちょっと悪ガキがりっぱになって卒業したのは嬉しかった。異年齢の子ども達が交流することで子どもそれぞれが成長していく。

(大分県・50代・男性)

電話ボックス内に貼ってあるピンクチラシ等の有害広告物の撤去を実施した結果別府市内ではピンクチラシがなくなった。

(大分県・70歳以上・男性)

“いつも見ている”ということをやったり、態度で示したりすると、安心してか、こちらに心を開いてくれるようになった。金髪、ボディピアスで主張していた子が自ら黒髪に染め、ピアスを外して来るようになった。

(大阪府・20代・女性)

カラオケボックス（喫茶）へパトロールに行った折、家出少女を発見、警察に連絡保護された。

(愛知県・70歳以上・男性)

若者対象の行事の話し合い（グループごと）で述べた（経験上）ことが、若者たちには新鮮であつたらしく、是非、地域や若者が必要とされているところでボランティア活動をしたい、あるいは同世代とではなく、多くの異世代と関わりをもちたいという意見が多かつた事。

（神奈川県・60代・女性）

私が代表をしているガールスカウトの中学生の少女達が、昨年8月の兵庫県佐用町の水害ボランティアに参加し、その一人がその後の体験を県の少年の主張大会で発表した事。

（兵庫県・60代・女性）

駅前の駐輪場での放置自転車を少なくする運動及び再利用して防災時等に利用できるよう警備・塗装等して各施設に配置。

（和歌山県・50代・男性）

児童委員になり、まだ2年目なので、活動効果がある様な事はないのですが、個人的に、4～5件の家庭に拘わり、引きこもり、不良の子等、色々な子や親が、家に遊びに来ます。その時はなるべく、相手に合わせて、時間を取り、話を聞く事にしています。そのうちに子達は多くの事を話してくれる様になります。今、19才の女子ですが、中学校より通学拒否、家出、万引き、薬物使用等…けど、今は高校に行きたいと塾に通うほどになりました。

（愛知県・40代・女性）

特に表彰されたり更生されたりしたことはありませんが、日頃行っているガールスカウト活動の中で、何が善いことか悪いことか、人として生きてゆくのに善い仲間作りと、その仲間と何か人の役に立つことをしようと行動を起こすことを常時考え少しでも実行しています。

（神奈川県・70歳以上・女性）

地域体育振興事業に関わり、子どもと大人のスポーツを通した異世代交流に傾注しています。地域の連帯と大人の知恵を子どもに伝えたいと思います。

（三重県・60代・男性）

地域警察署の少年補導員として生安部署員の人と夕方駅周辺のパトロール&啓蒙活動をしている。又、小中学生の下校時に市内を青色回転灯をつけ車（自分の車、陸運局の許可、本部長からの委嘱）によるパトロールをしております。又、保護司として再犯しない様更生に日々微力ですが助言等しております。

（奈良県・70歳以上・女性）

ボーイスカウトのユースの代表をしています。マリジェットやスノーモービルを使った活動を展開しているのですが毎年参加者が増えています。自然を通じた自慢できるような遊びの体験がみんなにいい影響を与えていると感じています。また毎年誰でも参加しやすい料金で続けることで、体験を通じて後輩をさそうなど、各個人の自発性や人間力の向上にいい影響を与えていると感じています。

(愛知県・20代・男性)

子ども（高校不登校）が親と衝突して家に居づらい時、自宅を開放して、居場所をつくるようにした。街をうろつくことをさせないように、話を聞き、食事もさせた。アルバイトをはじめ、単位制の高校卒業するまで何とか見守ることができた。高卒の資格をとる意味は、本人も働く中で痛切に感じたとのこと。

(兵庫県・60代・女性)

地域の自治会役員さんや小中学校職員、PTA役員の皆さんと一緒に夏休み前に地域パトロールを行っています。通学路の危険な所とともに有害図書や自販機などの見回りも行っており、情報の共有ができています。毎年行なっている事業なのでコンビニ店なども協力的に対応してくれます。

(神奈川県・50代・女性)

大学4年間続けてきたキャンプリーダーの活動。共に寝食をしたり自然の中で何日も過ごすことにより、最初は感じられなかった子どもたちの優しさや協調性が芽生えはじめてきたこと。

(大阪府・20代・女性)

青少年を更生させたとか大きな実績はありませんが、長期計画で赤ちゃんから本を読み聞かせたり（ブックスタート）、小、中学生へのあいさつ運動を定期的に行うことにより、感性豊かな子育て、非行への抑制を図っている。

(広島県・50代・男性)

“街”の電柱や戸外に貼られたピンクちらしを取り除く活動を通していかに有害情報が蔓延しているか大人が意識するに至った。

(山形県・50代・女性)

22年前地域で出来る、青少年の健全育成活動を考えた時、育成活動は、学校へ入ってからは遅いと感じ、0歳からの親子を対象に手掛けて始めた『親子ふれあい教室』今日も引き続き開催しています。平成元年、地域で子どもから、大人までが一緒に関われる活動として『和太鼓』を始めた。

(岐阜県・60代・男性)

地域にミニバスケットクラブを立ち上げた事です。40才ごろでしたか当時ミニバスケットが盛んになり始めた頃でしたので、子ども達の健全育成の為にも地域の子も達にミニバスケットを教える事にしたのです。地域のクラブとして育てあげ、指導者も2～3人見つけて参加してもらいました。又、その中から他の地域にもクラブをつくり、子ども達を指導することが出来ました。バスケットクラブを通して子ども達の健全育成に寄与できたと思います。

(千葉県・60代・男性)

地域において「落書き消し」をしてまいりました。少しずつですが、「落書き」が減りつつありました。

(岐阜県・50代・女性)

市内各地域ごとに（学校単位）通学路における子ども見守隊を結成し、朝夕の登下校時に声をかける事によって、犯罪から子どもを守り非行防止にも大きな成果を上げている。この活動を行うにより、地域に犯罪もなくなり更生保護を受ける対象者も無い地域が出てきている。

(千葉県・50代・男性)

非特定活動法人日本ガーディアン・エンジェルズで活動をしています。夜間のパトロール時の青少年への声かけなど、結果が見えるものではありませんが…声かけをした瞬間の顔と、コミュニケーションを取り気持ちがほぐれ、別れ際にバイバイと笑顔で応えてくれた後には、子ども達の心がホッコリとするのではないかといつも感じています。

(東京都・50代・女性)

少年指導委員として、放課後児童クラブ室で「防犯教室」を実施。万引き、誘拐、いじめの三点を入れた童話を作り「こぐま座」として活動。

(埼玉県・70歳以上・女性)

市の補助金を利用して、防犯灯の数を増やした。

(佐賀県・60代・男性)

ネットワーク団体の庶務をさせて頂いており、車用ステッカーを作りました。来年度、関係者の皆様にお配りする予定ですので、まだ効果はわかりませんが、自転車用プレートにもう以前に作成され街中でもよく見かけますが、女性でも気軽につけられるように買い物ついでに「大きすぎず目立たすぎず」の大きさに、車用に作ってみました。裏には磁気プレートをつける予定です。



(滋賀県・40代・女性)

不登校児童青少年対応に力を入れて取り組んでいます。早期発見早期対応ということで、この4年間地域力アップのため研修会を毎月開催して参りました。その結果不登校の子をもつ親の深刻な悩み、手をかける余裕のない教育現場の声が多くあり、その数の増加傾向が浮きぼりになりました。

(秋田県・60代・女性)

育成活動とまでは行かないかもしれませんが、自分の娘の高校時代に同級生が、親と不仲の為家出をしていた時、我が家で2年間ほど(卒業)まで生活をさせてあげました。その後ガイドになり、今は新しい家庭をもち、子どもも出き幸せそうです。環境を変える事も効果的かもしれませんね。

(愛知県・50代・女性)

同じ目線に立って話を聞いてあげ、上から見ない。特に小どもは何らかの不満を持っている。話を聞いてあげる事が一番だと思います。

(茨城県・60代・男性)

学校での成績を心配している同年代の友達に、子どものテストの点数なんかあまり気にしないで、50点取れたら次は60点を目指せば良いと言ったところ、それを親から聞いた子どもは、とりあえず60点を目指して勉強しているうちによく勉強する様になり、現在は学校の教諭をしているそうです。

(群馬県・50代・男性)

自転車の2人乗り→「危ないから下りなさいね。気を付けてお帰りなさい。」無灯火を行っている中・高生→「明りを付けないと危いよ。相手にケガさせたら大変よ。あなた自身もケガするから。ちゃんとライトをつけようね」と声かけをした。威圧的な注意よりも、優しく相手を思いやるような注意が効果が上がった。

(鹿児島県・60代・男性)

私は、中学校野球部コーチを通して、技術の前に挨拶、言葉使い、相手の気持ちを考えて、野球しながら、「やればできる、やらなきゃうまくならない」をモットーに、またスポーツにはルールがあって初めてゲームができるのと同じで社会にもルールがある。但し、これは最低のルールであると指導しています。小学校から不登校の子どもも親と先生と相談しながら3年生にはチームの4番バッターとして活躍し、高校では、ソフトボールチームを立上げ、3年生の時は県選抜で国体に出場、現在は時間のある時は指導しています。子ども達は自分中心の考えでなく他人を考えてから行動、ではないかと話をします。これからも子ども目線・親先生地域の人たちとともに、子ども達の成長に協力していきたいと思えます。

(山形県・60代・男性)

高校生の大会で、キャンプ中、いくら注意してもタバコをやめない東京のスカウトがいた。引継時、その事を聞いた私はその子達に、やめないならそのままキャンプを中止して帰る様言った。別に強く言った訳ではないが、スカウトは手持のタバコを全部差し出し、キャンプを続けた。優しく接するだけでなく否は否できちんとと言う人間が少なくなっているのではと感じた。

(京都府・60代・男性)

地域防犯活動として夜間のパトロールをしています。特に公園の監視では町外からの者が集まり仲間づくりの場にもなり、ここを中心として町内の空巣をしていた事が判明しました。以後、町内の公園を巡回する事で犯行が抑えられました。

(東京都・40代・男性)

私は地域のライオンズクラブに所属している。青少年担当委員になった時、親子バードウォッチングを実施した。親子を野外に連れ出し、自然観察の面白さを指導し、小さな生命とのふれあいを通して感動を体験させている。今の学校教育の限界を補完する意味で大変意義のあるものと思っている。

(香川県・60代・男性)

いじめが原因で不登校気味の子どもについて、家庭を訪ねたり、屋外で共に過したり、その子のクラスの授業参観（子どもの母親と共に）等をし、次第に改善された事。母親も明るさを取り戻された事が良かった。

(岡山県・50代・女性)

身近な地域のために活動するというボランティアグループの中で、週日の夜回りを行っていたが、小学生の下校時間の見守り活動を新たに取り入れて、学校との連携も行っている。人権擁護委員の活動の一環として全国の小中学生に対して「SOSミニレター」事業を行っているが、親や先生に話せない悩みを手紙に書いてくる子どもがいて、委員が返事を書いて答えている。

(福岡県・60代・男性)

外来種の駆除法として「ブラックバスは食べて駆除すっぺ」を掲げて、山形市内高校生に呼びかけ、釣りを楽しみつつ、調理して食べるという企画を実施。釣りをしない女子もフライにするなどの役割があり、さらに、仙台からは癒しを求めて父子で参加。山形県青少年アイデアコンテストで企画が認証されたもの。

(山形県・50代・男性)

問題傾向のある青少年の非行防止及び保護のため、身体的・精神的拠所となる居場所を提供し、和太鼓活動、ダンス活動を行なっています。

(愛知県・20代・男性)

12月に150人くらいで夜通し海まで歩き、富士山と日の出を見るイベントをやりましたが、自分の体力に挑戦することと達成感を感じてもらえたと思う。思い出に残るのは苦労であると思います。楽な行事は思い出として残らない。お客様ではなく一緒に苦しめばよい結果が得られる。

(神奈川県・50代・男性)

中学生の有志で「ごみバスターズ」を結成し、地元の夏祭りでひたすらごみを拾うボランティア活動をした。このメンバーの中に、学童野球の生徒がいて、この子が荒れていた頃だったが群衆のなかでごみを拾ってくれた姿は良くやってくれたと思う。祭り実行委員より、例年祭りの終わりにはごみの整理が大変だったが、今年はきれいだったと彼らの活動を認めてくれた。荒れている子でも何かのタイミングで素晴らしいことをしてくれる。健全育成は大人の影響が大きいと感じた。

(三重県・60代・男性)

教師として、たびたび問題行動をおこす中学生に対し、真剣に関わり続けてきた(生徒の反抗的な態度にも一歩も引かず、体当たりでぶつかり、本気で叱った)。その教え子たちが成人し、社会に出てから、「あの時、先生がいてくれたから、叱ってくれたから、今の自分があります。ありがとうございました。」というような言葉をもらうことが多い。子どもたちと真剣に向き合い、情熱と愛情とをもって接することはとても大切である。

(岐阜県・40代・男性)

地域の児童館で行う「こどもまつり」や「もちつき」などの行事にボランティアとして中学生、高校生、大学生にお手伝いをしてもらっている。自分も遊びたい、買いたい気持があっても地域の大人と一緒にになって一定のルールの中でガマンもして、小さな子ども(幼児、小学生)の面倒を見ることは社会性を学ぶのに非常に良いことだと思う。

(愛知県・50代・女性)

地域のスポーツ少年団で剣道指導を行なっていて、児童のときは技術的な事は基本でよいが、躰の指導は厳しく真剣に行なう、を指導目的にした。礼・言葉・思いやり・感謝など気付いた時点で指導を行なった。子どもは素直に身に付けてくれ、元気に挨拶を交わす。他をいたわる姿が見られるようになった。それを見ていた保護者も変わってきたのは嬉しい限りである。それまでの保護者は、黙って子どもを置いていき練習が終われば黙って連れていく状態が、指導者にも挨拶をし、子どもの練習を終りまで見学したり、保護者同士話しあったりと変化してきた。

(富山県・60代・男性)

四国初の青色回転灯つけた。白黒ツートンカラーのパトロールカー作り、2台自作して、パトロールを行っている。

(高知県・60代・男性)

私達ボランティアは小学校、幼稚園、保育園等で防犯教室を行っています。この活動が県知事から表彰されました。子ども達への「声かけ」から、次に会った時「もうたばこやめたよ」等子ども達の方から声をかけてくれた時、「声かけ」の大切さを痛感します。

(埼玉県・50代・女性)

子ども会からの剣道クラブ、自然を守る少年クラブ・児童文化サークル、社会教育、少年補導など、さまざまに約40年間やって来た中で、毎年教育キャンプを約18年実行して来ました。群集心理の中で、自からを悟らせる。学んだことは、今もこの町で、それぞれの部署で生きていると思われます。その他、集団カツアゲ事件、窃盗など種々ありましたが、要は善悪をよく理解させ、自からを悟らせることで立派に更生し、涙の止まらなかったこともありました。

(大分県・70歳以上・男性)

有害ビデオ自販機の撤去活動を地域活動として実施した折に、設置された地域住民を巻き込み、例えば、自販機の有害性や撤去の必要性を知り、撤去署名運動を展開したことにより、自販機の撤去はもとより、子どもに対する地域の関心がより高まったこと。

(長野県・70歳以上・男性)

混雑するコンビニで高校生の万引(ライター1個)を目撃しました。店から出ようとしたので後ろから小さな声で「返しておいで」と言いました。少年はドキッとした様子で、返しに行きました。その後今度は私の背後で「すみませんでした。もうしません。」という声がし、私は振り向かずうなずきました。“監視カメラの目で見られている”のではなく、“お天道様は見ている”というニュアンスで彼にも伝わったかなと思っています。彼の私への声かけが嬉しかったです。

(福井県・40代・女性)

6年生にリーダーとしての役割を持たせる為に、毎年5月頃に全員(6年生)を集め、その中から子ども会長を選出し、会長のサポートを他の6年生全員から行なう指導を行なった。また、毎年3月には『6年生を送る会』を行ない、全員の反省を発言させる活動を実践・継続した。

(大分県・50代・男性)

子ども会、みどりの少年団にかかわっておりますが、30年携って感じたことは、「体験はすべての教育に優る」ということで、あらゆる体験をさせることで効果をあげている。

(大分県・70歳以上・男性)

中学生を対象としたネットモラル講演会の後で、聴講した生徒から不正請求のメールやいじめの書き込み等の相談があり、対応することで生徒が安心できる状態になった。

(千葉県・40代・男性)

通路側面とか壁などに中学生がペンキで絵を書きいたずらをされ美感上よくないと言うことで、地元の中学校2校の生徒達と地元自治会の方々と私達少年補導員と府の土木課の応援を頂き、又、地元の塗装業の方々のご協力により、いたずらされたペンキを消して、生徒達の活動によりペンキ塗りが終り、元通りのきれいな側面になり大阪府で評判の話題になり、青少年育成活動の効果があったと思っています。それ以後落書きなしになりました。

(大阪府・60代・男性)

深夜徘徊の少年にたいする声かけ。薬物乱用防止教室を開催してその恐さを教える。

(福島県・50代・男性)

毎月、地域の小学生1～6年生約20名程にジュニア錬成会の開催、礼儀作法、ハイの返事、倫理道德についての話をしたり、実際に号札をかけて訓練をしたりして正しい生き方を教えている。またその親にも伝わるように働きかけている。

(神奈川県・60代・男性)

小学上級生から中学生にボランティアを開催、半年間、講座、後期半年を実践し福祉施設や障害児、障害者、高齢者と対面交流を企画。効果は下を向いていた子どもが体験を重ねる度に自然と前を向く様になり、登校拒否の子は学校へ戻れました。何か自分でも役に立てる…と自信につながり、挨拶も立派に出来る程になり意見も述べる事ができるようになりました。居場所ができた子(見つけられた子)は変ります!

(福岡県・50代・女性)

青少年に直接体験の場を考えたが、校区内に見あたらなかったので、田植え、稲刈り、竹の子掘りなどを現地集合で校区外で企画した。出発から親子、近所の子との会話がはずみ大好評で参加者も増加、もちつき大会には校区内の独居老人を招き、交流ができ、民生委員との協力体制も深まった。イベントでのつながりや広がりが強められた。最近は子どもの自主防災学習会で支えあいの大切さもみんな学びあっている。

(愛媛県・70歳以上・女性)

地域で活動した折、非行に走るのは、学校の授業について行かれない…という生徒が多かった(以前はです)。その為、少しでも力になれる様に家の庭にプレハブを建て、勉強を見た事がとても有意義な活動だったと思う。

(神奈川県・60代・女性)

中学校が荒廃した時期に、PTAと伴にタバコの吸い殻を拾い続けた。少しずつ減っていった。

(徳島県・50代・男性)

声がけ事案。地域の男の子が中学生の時、少々校内で問題ありや、地域に帰ってからはあちこちでスケボーをして結構苦情が出ていた。自分は見守り隊として地域を歩き下校時の児童、生徒に声がけをしていて、その男子中学生にも声がけしていたが危険な場所でのスケボーには注意し、あとは差しさわりのない話等をしていたが、同じ日にいろんな場所で会うこともあり嫌な顔をされた。現在高校生となり、たまに見かけると向こうから手を振ってくれたり挨拶されたり、とても嬉しいものである。地道な活動だがこれからも続けて嫌がられても地域の子に声がけをしていこうと思っています。

(岩手県・50代・女性)

学校・地域が連携して、地域ふれあい活動を実施しています。子どもも単なる参加者でとどまらず、司会、受付、屋台など役割を持っているので、地域の方にも顔を覚えてもらえるメリットがあります。あいさつをするようになったという話を聞きます。青少年育成だけでなく、防災、防犯などいろいろな面で意義のある活動だと思います。

(愛知県・30代・女性)

地域で小・中・高校生、大人、外国からのお嫁さんなどで絵本読みきかせ会を実施。未来博では高校生が炎天下1週間終日絵本を読み続けた。その後保育士や留学と夢を叶えた。若者がエネルギーを使う場を与えるのが良い。

(福島県・40代・女性)

青少年専任指導員として街頭活動を通して、声かけ指導を行なっている。「おじちゃん頑張って学校に行きよるよ!」「絶対高校を卒業するよ!」等声をかけられるようになった。地道ではあるが、何度も声をかけることにより、抑止効果も含め大切な活動だと思います。また、地域懇談会を通して親の成長と地域の力や協力向上の手助けに頑張っている。

(熊本県・60代・男性)

環境的にゲームセンターもなく、あまり問題のない地域なもので、補導員、指導員も意識の低い地域だと思います。そこで、地域ボランティア助成金事業の開催に応募し、実際助成金をただただける事になりましたところ、意識の向上とともに団結力も高まりました。

(熊本県・50代・女性)

少年補導員、区の青少年対策委員、都の健全育成協力員として、区から3回東京都から1回、表彰を受けました。それは20数年活動しているからで、特別な事をしたとは思っていませんが、補導中に駅のホームで電車に飛びこもうとしていた高校入学間もない女子に声かけをし、自殺をとめられた事です。補導活動中であり上からの目線ではなく、子ども達の目線でひと声かける事を心がけています。

(東京都・60代・女性)

相手の目を見ながらの挨拶（おはよう、など何でも良い）をするように指導し実践してくれた子は、人と人のかかわりあいを理解し、子どもであっても社会の一員であることを理解してくれた（悪いことや、間違っただけをやめられた）。

（神奈川県・60代・男性）

パトロール、街頭補導で溜まり場などをいつも巡回して啓発活動をしています。以前はシンナーを吸っていましたが今ではなくなりました。ナイロン袋（シンナーを吸った袋）をその都度拾ってきれいにしていた（何回も拾っていた）。3ヶ月たったころ、シンナーを吸った様子なくなった。

（山口県・60代・女性）

私どもの街頭パトロールは学校の先生方と一緒にしますので、青少年の各々も先生方も顔見知りの為“声かけ”がとてもスムーズで、青少年たちも素直で効果大であること。

（兵庫県・60代・女性）

小学校の自由な学習の時間を活用し、教師と美術館が連携を図り地元から中央画壇で活躍した画家の足跡を1年間にわたり学習することで、地域有志や知人の支援等で中央で活躍することが可能となったことの意義や人間関係の大切さを学んだと考える。

（北海道・60代・男性）

学校週休2日制となった後、定期的に公民館で親子で参加出来る健全育成事業をしています。その中で年末に地域の方に教えてもらいながら、しめ縄を作る事を数年経続的に実施し、子ども、親、地域の方が互いに知り合う場となっています。

（石川県・40代・男性）

少女たちに会う都度、起りうる情報を伝える。「あなたを心配し大切に思っている」人がいることを伝える。

（兵庫県・60代・女性）

地元新聞に青少年育成に関する記事を連載し、読者の父母の方々から参考になっているとお電話をいただいている。

（鹿児島県・70歳以上・男性）

高校生でバス停の近くに、駐輪場がありそこに5人の生徒が自転車をバラバラに置いて行くので、整理して置くように注意しました。その1週間後、現場を見に行きました所、きちんと整理して置いていました。

（熊本県・70歳以上・男性）